

September 14, 2021

【前日の為替概況】ユーロ弱含み、対ドル 1.1770ドル、対円 129.59円

13日のニューヨーク外国為替市場でドル円は小幅続伸。終値は109.99円と前営業日NY終値(109.94円)と比べて5銭程度のドル高水準だった。米長期金利の指標である米10年債利回りが1.31%台まで低下したことを受けて円買い・ドル売りが先行し、109.90円付近まで下押しした。ただ、アジア時間早朝に付けた日通し安値109.83円がサポートとして意識されると徐々に下値を切り上げた。ダウ平均や日経平均先物の上昇も相場を下支えした。もともと、NY市場に限れば値幅23銭程度の狭いレンジでの取引に終始した。市場では「14日発表の8月米消費者物価指数(CPI)を控えて、インフレ動向と米連邦準備理事会(FRB)のテーパリング(量的緩和縮小)の開始時期を見極めたいとの向きが多い」との声が聞かれた。

ユーロドルは小幅続落。終値は1.1811ドルと前営業日NY終値(1.1814ドル)と比べて0.0003ドル程度のユーロ安水準だった。21時前に一時1.1770ドルと8月27日以来の安値を付けたものの、売り一巡後は買い戻しが優勢となり、米長期金利の低下に伴うユーロ買い・ドル売りが入り、0時30分過ぎには1.1817ドルとアジア時間に付けた日通し高値に面合わせした。

ユーロ円はほぼ横ばい。終値は129.91円と前営業日NY終値(129.89円)と比べて2銭程度のユーロ高水準。21時過ぎに一時129.59円と日通し安値を付けたものの、売り一巡後は徐々に買い戻しが進み一時129.94円付近まで値を上げた。ユーロドルに似た動きとなった。

カナダドルは対ドルで1.2638カナダドル、対円で87.02円まで強含む場面があった。ハリケーン「アイダ」に続き、ハリケーン「ニコラス」が勢力を強めていることを受けて、原油先物相場が上昇。産油国通貨とされるカナダドルの買いを誘った。

同じく産油国通貨であるメキシコペソも堅調だった。対ドルでは19.8486ペソ付近、対円では5.55円付近まで上昇した。

【本日の東京為替見通し】今夜の米8月消費者物価指数を控えて動意に乏しい展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、来週21-22日に開催される米連邦公開市場委員会(FOMC)に向けた指針となる米8月消費者物価指数の発表を控えて動きづらい展開が予想される。

米国8月の消費者物価指数は、前月比+0.4%(7月+0.5%)、前年比+5.3%(7月+5.4%)、コア指数は前月比+0.3%(7月+0.3%)、前年比+4.2%(7月+4.3%)と予想されている。

予想通りに低下していた場合、パウエルFRB議長などの米連邦準備理事会(FRB)ハト派高官によるインフレ高進は一時的との見解が裏付けられることで、来週のFOMCでは、テーパリング(資産購入の段階的縮小)の開始時期が年明け以降に先送りされる可能性が高まることになる。しかしながら、米国8月の卸売物価指数(PPI)がサプライチェーン(部品の調達・供給網)の混乱などから統計開始以来の高水準を記録していたことで、消費者物価指数も上昇というポジティブサプライズだった場合は、タカ派のカプラン米ダラス連銀総裁の見解「現在のデータは9月のテーパリング(段階的縮小)発表と10月の開始が適切であることを示唆している」が優勢となることで要注目となる。

本日のドル円のオーダー状況は、110.00円の15日のNYカットオプションを軸にして、上値には、110.20円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買い、110.30-50円に断続的にドル売りオーダーが控えている。下値には、109.70-80円に断続的にドル買いオーダー、109.60円にドル買いオーダー、割り込むとストップロス売りが控えている。

ドル円のテクニカルポイントとして、一目均衡表の雲の下限109.76円、雲の上限110.19円、転換線110.02円、基準線109.96円、そして21日移動平均線109.90円、90日移動平均線109.93円が挙げられる。主要なテクニカルポイントが110円付近に収斂していることは、現状のドル円相場の膠着の結果ではあるが、今後の大相場を予感させるものでもある。

11時45分からのロウ豪準備銀行(RBA)総裁の講演では、豪準備銀行(RBA)理事会の声明文で、週40億豪ドルのペースで2022年2月まで国債購入を継続すると発表し、当面は更なるテーパリング期待がなくなっていること、新型コロナウイルスのデルタ株感染拡大を受けた景況感悪化に対する金融刺激策の言及などが注目される。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 13:30 ◇ 7月鉱工業生産確報
- 13:30 ◇ 7月設備稼働率

<海外>

- 10:30 ◎ 4-6月期豪住宅価格指数（予想：前期比 6.0%／前年比 14.0%）
- 10:30 ◇ 8月豪 NAB 企業景況感指数
- 11:45 ◎ ロウ豪準備銀行（RBA）総裁、講演
- 15:00 ◎ 8月英雇用統計（失業率／失業保険申請件数推移）
- 15:00 ◎ 5-7月英失業率（ILO方式、予想：4.6%）
- 15:30 ◎ 8月インド卸売物価指数（WPI、予想：前年比 10.75%）
- 15:30 ◇ 8月スイス生産者輸入価格
- 16:30 ◎ 8月スウェーデン消費者物価指数（CPI、予想：前月比 0.2%／前年比 1.7%）
コア指数（予想：前月比 0.2%／前年比 1.9%）
- 21:30 ◇ 7月カナダ製造業出荷（予想：前月比▲1.2%）
- 21:30 ☆ 8月米 CPI（予想：前月比 0.4%／前年比 5.3%）
☆ エネルギーと食品を除くコア指数（予想：前月比 0.3%／前年比 4.2%）
- 第 76 回国連総会開幕（ニューヨーク）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

13日 17:25 アルトマイヤー独経済相

「第3四半期のGDP成長率は、第2四半期の前期比1.6%増から大幅回復を予想」

「第4四半期にはGDP成長率が正常化する見込み」

13日 17:44 ハウザー英中銀・市場担当理事

「量的緩和(QE)の巻き戻しは今後の引き締め戦略に不可欠な要素」

「QEが解除された後も、将来的にはバランスシートは構造的に大きくなる」

13日 18:33 シュナーベル欧州中央銀行(ECB)専務理事

「早ければ来年にはインフレ率が顕著に低下するだろう」

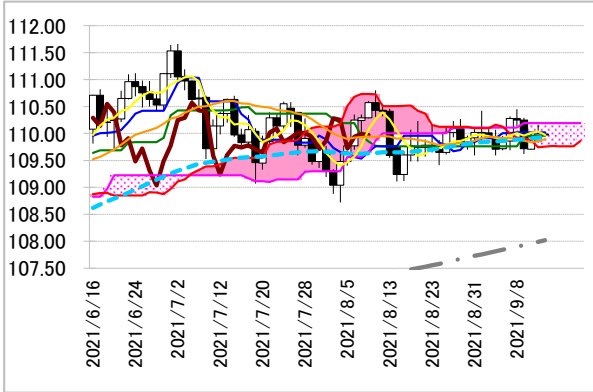
「現在のインフレ率の解釈には注意が必要だ」

「ベース効果を調整すると、現在のインフレ率は高すぎるといよりはむしろ低すぎる」

「確実に2%目標を達成できると確信してから正常化プロセスを開始」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

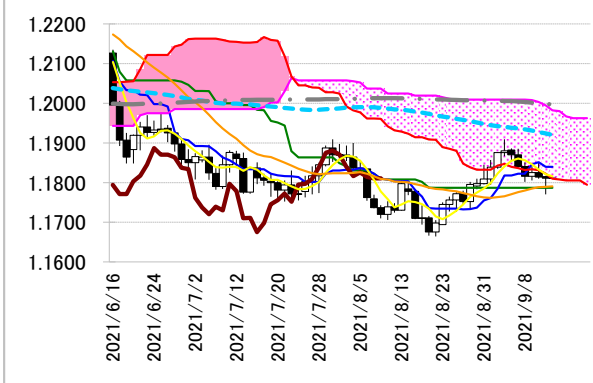


<ドル円=9/8 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けており、転換線を下回って引けていることから、売りシグナルが優勢な展開。2手連続陽線で上昇しているものの、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、9月8日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	110.80(8/11 高値)
レジスタンス 1	110.45(9/8 高値)
前日終値	109.99
サポート 1	109.59(9/3 安値)
サポート 2	109.11(8/16 安値)

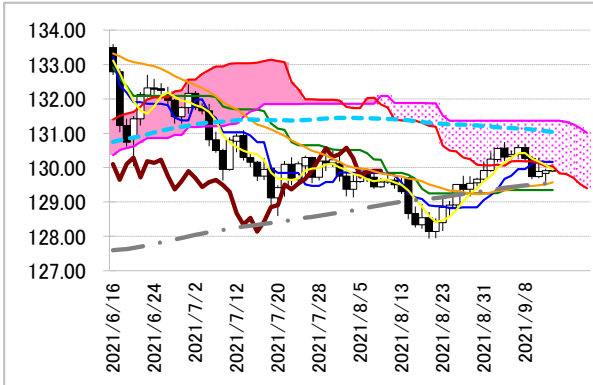


<ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の下で引けているものの、買いシグナルが優勢な展開となっている。しかし、2手連続陰線で下落して、転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1840(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1811
サポート 1	1.1787(日足一目均衡表・基準線)

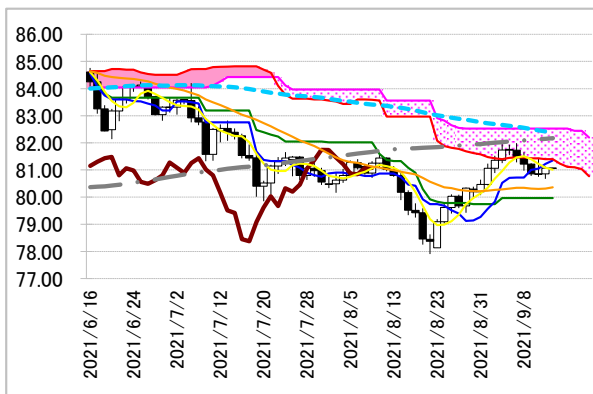


<ユーロ円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の下で引けているものの、買いシグナルが優勢な展開となっている。しかし、2手連続陽線で上昇しているものの転換線を下回って引けていることで反落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	130.17(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	129.91
サポート 1	129.59(9/13 安値)



<豪ドル円=雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の下で引けているものの、買いシグナルが優勢な展開となっている。しかし、転換線を下回って引けていることから反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	81.40(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	81.07
サポート 1	80.67(9/13 安値)

